



病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針

- 1.質の高い安全な医療
- 2.救急医療
- 3.国内外の医療救援活動
- 4.地域連携
- 5.教育・研修・研鑽
- 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

診療科紹介

小児科

当院小児科は35床の小児病棟があり、7名の小児科医で新生児・小児疾患を診療しています。病棟には保育士も配置し、また、長期入院の児童・生徒のために、小学校と中学校の院内学級も設置しておりますので、安心して治療を行える体制が整っています。

外来は、一般外来に加え、腎臓、新生児、神経、循環器の専門の医師が診察を行っています。急患対応として、平日19:30まで、土曜日13:00～19:00の間、時間外診療を行っています。



▲小児科医師一同 【後列左から】尾田医師・菊野医師・中島医師・西村医師
【前列左から】(副部長)高田医師・(部長)波多江医師・(部長)久保医師

専門分野	担当医より
腎臓	<p>波多江 健 (第1小児科部長、日本小児科学会専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医) 西村 真直 (日本小児科学会専門医、日本小児腎臓病学会会員)</p> <p>各種の小児の腎尿路疾患を取り扱っています。学校検尿で発見された血尿や蛋白尿、むくみや血尿を伴う腎臓病や尿路の先天的な問題などの精査および加療を行っています。腎生検も多数行っています。尿の異常がある場合には、お気軽にご相談ください。</p>
新生児	<p>久保 鋭治 (第2小児科部長、日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会新生児専門医)</p> <p>当院の新生児治療は、原則在胎34週、出生体重1500g以上の児を対象に行っています。昨年は年間約700例の院内出生のうち、180人のベビーの治療を行いました。最重症の症例は、周産期センターとの連携を迅速に行なっています。また、開業産科で出生されたlate preterm児や黄疸の治療が必要な児の紹介も頂いております。</p>
神経	<p>高田 結 (第1小児科副部長、日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医)</p> <p>脳、神経、筋肉の問題が疑われたり、発達や行動に問題のあるお子さんの診療を行います。具体的には、けいれんや意識障害、頭痛、運動や言葉の問題(歩けない、手足に力が入りにくい、言葉の発達が遅い、言葉が出ない)、行動の問題(集団行動ができない、落ち着きがない)のあるお子さんの診断、治療、指導を行います。</p>
循環器	<p>中島 康貴 (日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会会員)</p> <p>循環器分野では、川崎病に対する急性期治療(重症例に対するインフリキシマブによる治療を含む)及び遠隔期の経過観察、先天性心疾患・不整脈等の心疾患に対する診療、学校心臓検診で精密検査を必要とした患者さんの診療を行っています。高度な検査・治療を必要とする場合は、九州大学病院等と連携して診療を行っています。</p>





第2泌尿器科部長 清島圭二郎

日本内視鏡外科学会 腹腔鏡技術認定医（泌尿器腹腔鏡）
 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
 日本泌尿器科学会 / 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
 日本泌尿器内視鏡学会 認定プロクター（泌尿器ロボット支援手術）
 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

福岡赤十字病院でロボット手術がスタート

皆さまこんにちは。私は、今年4月より第2泌尿器科部長として福岡赤十字病院に赴任致しました。上の写真は私と同じ時期に当院に導入されました手術支援ロボットの最新機種であるダヴィンチXi[®]（の一部）です。本頁では、このダヴィンチXi[®]を用いた泌尿器科領域の手術についてご紹介します。

今年4月から保険診療で行えるロボット手術の種類が大幅に増え、ロボット手術がメディアで取り上げられることも格段に増えました。ロボット手術は、上の写真の機器を操作すると、ケーブルで繋がったロボットの4本の手を自在に動かすことができます。このロボットの手に装着した手術用の道具（鉗子）は直径8mm程度ですので、この鉗子が体内に入る1cm以下の小さな切開創（4～6箇所ほど）だけで手術が可能となります。またこのロボット用鉗子は、体内で我々の手首のように自在に曲げたり回したりすることができます。従って、従来の腹腔鏡手術のメリット（開腹手術に比べ出血量が少ない、術後の痛みが少なく回復が早いなど）はそのままだに、腹腔鏡手術よりもさらに繊細な手術を行うことができるようになってきました。

泌尿器科におけるロボット手術のメリット

泌尿器科の分野ではロボット手術の利点が早くから認められ、2012年には前立腺がんに対する前立腺全摘除術、2016年には転移のない7cm以下の腎がんに対する腎部分切除術が保険診療ですでに実施可能となっています。今年4月にはさらに膀胱がんに対する膀胱全摘除術も保険診療で実施可能となりました。

ロボット手術の具体的なメリットとしては、前立腺がんの全摘手術では従来の手術に比べて出血量が少ない、術後の排尿機能や性機能の回復が有利という報告が多くありますし、腎がんの腎部分切除術でも従来の手術に比べて出血量が少ない、術後の腎機能の回復がよい、入院期間が短いという報告がなされています。

患者さんの病状に見合った手術を提案します

このようにロボット手術は従来の開腹手術や腹腔鏡手術に比べて有利な点が多いのは事実ですが、ロボット手術が万能ということではなく、全ての患者さんに同じように100%の成果をもたらすものではありません。またロボット手術はロボットがあれば誰でもすぐにできるわけではなく、この手術を保険診療で行うには、様々なトレーニングを経験したうえで、国の定めた基準を満たしておく必要があります。従って、ロボット手術ありきではなく、患者さんの病状に見合った治療としてロボット手術が適切と考えられる場合に手術を選択することが大切です。そして、医師だけではなく手術に関わる専門スタッフでチームを作り、ロボット手術がスムーズに実施できる体制を整えていなければなりません。私は九州大学病院で長くロボット手術に携わってきた経験を活かして当院でもロボット手術のチーム整備に参加し、この5月から前立腺のロボット手術を開始しました。また、腎がんのロボット手術（腎部分切除術）についても開始できる体制を整えています。

ロボット手術に限らず泌尿器科疾患で気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。



糖尿病・代謝内科部長 佐々木伸浩

日本内科学会 認定医

日本糖尿病学会 専門医・指導医

日本プライマリケア連合学会 プライマリケア認定医

世界的に有効性が認められている肥満外科手術

肥満は世界中で増加しており、我が国の肥満人口も2016年国民健康・栄養調査によれば男性 31.3%、女性 20.6% と増加の一途をたどっています。肥満は糖尿病、高血圧、脂質代謝異常など生活習慣病の誘因となり、動脈硬化を進行させ、心臓病や脳卒中といった命にかかわる病気を急速に招くため、積極的な指導および治療介入が必要です。特にBMI 35以上の高度肥満では内科的アプローチだけでは治療に難渋するケースも稀ではありません。

近年、肥満外科手術の有効性は減量手術としてだけでなく糖尿病も含めた代謝改善手術としても世界的に注目されるようになりましたが、我が国の肥満外科治療件数は2016年でわずか303件とまだ非常に少ないのが現状です。一方、肥満先進国である米国では年間21万件以上が施行されています。その術式の中で腹腔鏡下スリーブ状胃切除術は2014年4月から保険収載され、高い安全性と比較的良好な減量効果から近年急速に増加しています。

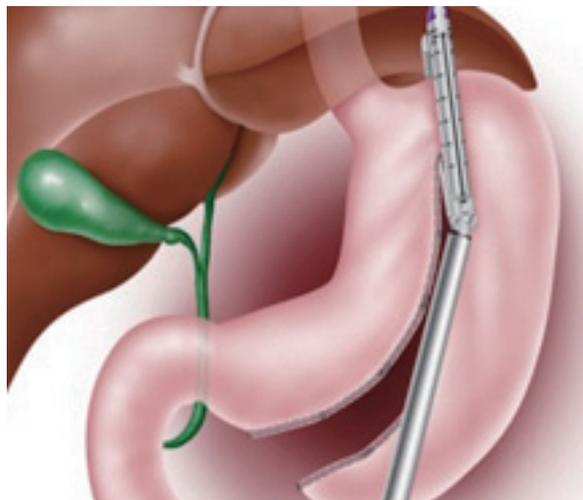
2018年3月、当院で肥満外科手術を開始

当院の糖尿病代謝内科外来では多くの糖尿病患者さんが通院されていますが、その中には高度肥満の患者さんも多数いらっしゃいます。最近では糖尿病薬の進歩により、体重減量効果が期待できる薬剤も使えるようになりましたが、その減量効果は1剤で2-3kg程度ですから、やはり減量は患者さんの生活習慣の改善に頼るしかありません。スリーブ状胃切除術は食欲低下も期待できる治療法です。食事摂取の多い肥満患者さんにとって、食欲が低下するということは治療が少し楽になるということの意味します。そこで当院でも2018年3月に肥満外科手術を開始いたしました。永井英司先生(外科医)をリーダーに糖尿病代謝内科医、麻酔科医、精神科医、栄養士、看護師、理学療法士、薬剤師など多職種で構成した専門チームを結成し、術前・手術・術後にわたって継続的な支援を行います。肥満外科手術が必要と思われる患者さんがいらっしゃれば、ぜひ一度当院糖尿病代謝内科までご相談ください。

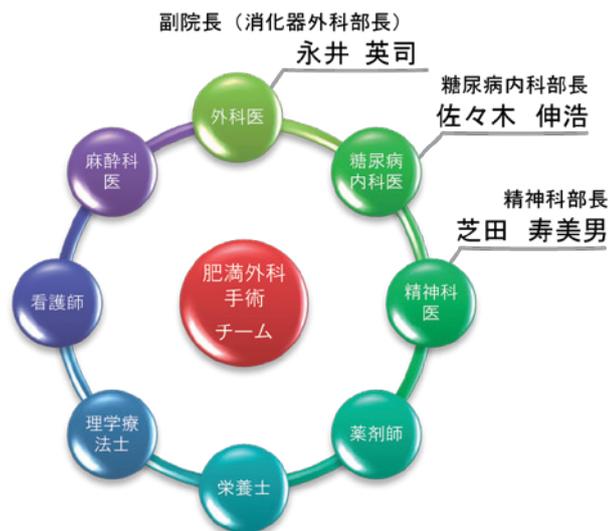
肥満手術の適応対象

- 年齢 18 ～ 65 歳の原発性肥満
- 6か月以上の内科的治療によっても十分な体重減少および肥満に伴う合併症の改善が認められないBMI \geq 35であり、糖尿病、高血圧症、脂質異常症又は閉塞性睡眠時無呼吸症候群のうち1つ以上を合併している患者

スリーブ状胃切除術のイメージ図



福岡赤十字病院における肥満外科手術の体制





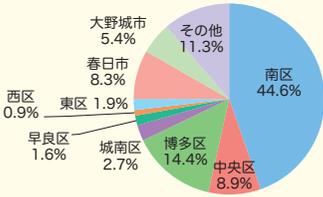
患者満足度調査



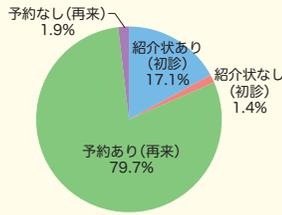
(外来編)

調査期間 平成 29 年 10 月 17 日～ 18 日実施 回答者数 885 名(回収率 73.5%) 回答者平均年齢 58.5 歳

●回答者の住所



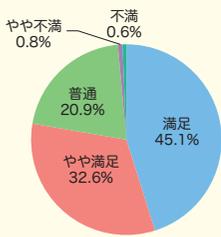
●受診状況



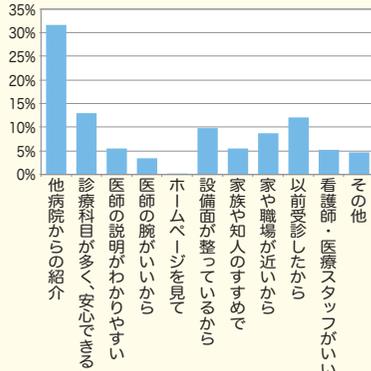
●待ち時間について

項目	平均待ち時間	満足度
①受付で案内票を受け取るまで	11.2分	72.2点
②ブロック受付から診察開始まで	61.0分	37.2点
③中央処置室受付から採血・検尿開始まで	17.6分	60.1点
④生理検査室受付から心電図・エコー他開始まで	18.4分	57.6点
⑤放射線受付から放射線検査開始まで	14.4分	67.8点
⑥診察開始から診察終了まで	43.2分	53.8点
⑦会計	21.6分	36.2点

●病院全体の印象はどうか



●当院選択理由(複数回答可)



●院内設備に対する満足度

項目	満足度
駐車場	76.3点
フロア案内表示	78.1点
ロビー	79.3点
自動再来受付機	84.7点
外来待合室	74.2点
院外処方箋コーナー	74.6点
自動精算機	78.3点
コンビニエンスストア	76.6点
トイレ	80.3点
待合室テレビ文字放送	70.9点
外来呼び出しシステム	72.9点
みんなの図書室	67.6点

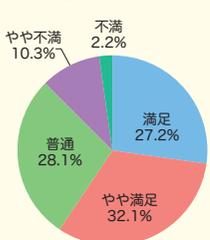
●職員に対する満足度(診察・看護・処置・説明・話し方など)

項目	満足度
医 診察について	84.0点
医 説明について	83.0点
師 話し方・雰囲気	84.9点
看護 看護・処置について	83.8点
師 説明について	83.0点
師 話し方・気配り	83.5点
薬剤師 説明について	78.2点
師 話し方・気配り	78.8点
検査 説明について	79.8点
技師 話し方・気配り	79.8点
師 説明について	80.3点
師 話し方・気配り	79.7点
事務員 説明について	78.8点
員 話し方・気配り	79.0点
接遇全般について	80.7点

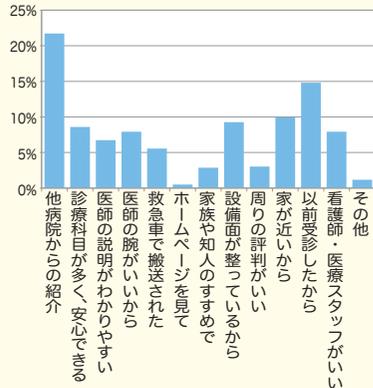
(入院編)

調査期間 平成 29 年 10 月 16 日～ 20 日実施 回答者数 254 名(回収率 57.0%) 回答者平均年齢 60.3 歳

●入院中の食事について



●当院に入院した理由



●院内設備に対する満足度

項目	満足度
寝具	83.6点
病衣	78.9点
トイレ	81.9点
浴室	81.5点
洗面所	81.4点
案内板フロア案内表示	81.0点
コンビニエンスストア	78.6点
デイルーム	77.8点
屋上庭園	75.2点
ベッド周り	79.3点
冷暖房・照明	76.8点
美容室	70.9点
図書館	72.5点

●職員に対する満足度(診察・看護・処置・説明・話し方など)

項目	満足度
医 診察について	92.2点
医 説明について	91.6点
師 話し方・雰囲気	92.2点
看護 看護・処置について	91.0点
師 説明について	89.8点
師 話し方・気配り	90.8点
看護 看護・処置について	88.3点
師 説明について	87.3点
師 話し方・気配り	87.8点
検査 説明について	87.7点
技師 話し方・気配り	88.0点
師 説明について	87.4点
師 話し方・気配り	87.4点
大工 説明について	85.5点
師 話し方・気配り	87.1点
栄養士 説明について	87.2点
師 話し方・気配り	88.2点
事務員 説明について	86.8点
師 話し方・気配り	87.4点
清掃員 説明について	83.6点
員 話し方・気配り	84.0点
員 清掃の仕方	85.2点
員 話し方・気配り	85.5点
接遇全般について	85.9点

※満足度は、「満足」を100点、「やや満足」を75点、「普通」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点として計算

～アンケート結果について～

当院では毎年患者満足度・待ち時間調査を行っております。平成 29 年度は 10 月に調査を実施いたしました。ご協力をいただきました患者さん・ご家族の皆様にお礼申し上げます。

職員に対する満足度については、外来・入院共に全国平均と比較して高い評価を頂き、職員の努力や取り組みを評価していただいたことに大変嬉しく思います。

待ち時間に関しましては、中央受付から診察終了までの待ち時間は全体的に時間短縮が出来ましたが、診察終了から会計までの時間は平均 4 分ほど延長するなど、今後も改善が必要とされております。会計業務のスキルアップに努め待ち時間短縮に努めていきます。

今回の調査を通じて、皆様から頂きました評価を全職員で共有し、今後ともより良い病院作りに努めてまいります。

患者サービス向上委員会



地域とともに!

登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

さわやま内科・総合診療クリニック

先生にインタビュー

特色・診療内容を教えてください

一つ目の特徴は総合診療です。総合診療専門医の立場から、一般的な風邪や何科に受診すれば良いかわからない方など内科全般にわたる診療を行っており、地域に密着した「かかりつけ医」としてあらゆる相談に対応しています。血液検査はもちろん、全身の超音波検査やレントゲン撮影の機器なども有していますので、患者さんの訴えをしっかりと聞き、必要な検査を行うことで原因となる疾患を絞って治療を行っています。

もう一つの特徴は専門性で、睡眠時無呼吸症候群と家族性高コレステロール血症を専門的に診療しています。睡眠時無呼吸症候群は放置すると高血圧症、脳卒中、狭心症、心筋梗塞などを合併する危険が高まることがわかっています。当クリニックは検査技師が常駐し、夜間の監視下による精密睡眠検査を行うことができる設備がある福岡市内でも数少ないクリニックですので、いびきや日中の眠気などが気になる方はご相談ください。

当院との連携についてお尋ねします

問診と検査の結果、他の精密検査が必要と判断したり、入院加療が必要と判断される場合などに、日赤に引き受けてもらうケースがよくあります。CTやMRIの検査を依頼することも多いです。電話をかけて「今から患者さんに行ってもらおうからお願いね」という感じでぱっと受けてもらえるので助かっていますし、クリニックからすぐ近くなので患者さんからも喜ばれています。



▲ 澤山泰典院長

基本情報

- ◎ 院長：澤山 泰典 先生
- ◎ 住所：☎815-0082 福岡市南区大楠2-8-29メディカルシティ平尾2F
- ◎ TEL：092-534-6590
- ◎ FAX：092-534-6591
- ◎ 診療科目：内科・脂質代謝内科・糖尿病内科・感染症内科
睡眠時無呼吸症候群検査
- ◎ 診療時間：月・火・水・金 8:30~13:00 14:30~18:00
木・土 8:30~12:30
- ◎ 休診日：日・祝



医療法人 重喜会 白浜病院

先生にインタビュー

特色・診療内容を教えてください

私と副院長は福岡大学血液腫瘍・糖尿病・感染症科出身であり各種固形がん、慢性期、末期の血液疾患に対する抗がん剤治療、がんに伴う症状や治療の副作用など身体的、精神的な苦痛にも配慮した緩和医療を専門としております。合わせて一般内科の内科診断学、一次救急を得意とする町に根付いた町医者病院であります。

「人にやさしい医療の提供」を目指して、わたしたち職員は患者様とご家族の喜びを、私達の喜びとさせていただけるよう、患者様一人ひとりに「心の通う医療」を提供したいと心がけております。そして、地域の住民の皆様から親しまれる病院として存続し、安心して暮らせる地域づくりに貢献するよう職員一同が一丸となって努力し、生き甲斐を持って働ける病院を目指しております。

当院との連携についてお尋ねします

私にとって福岡赤十字病院はまだ医師として駆け出しのころ救急科にて仕事をさせていただき、大変身近で連携しやすい病院であります。当院では、地域の中核病院を担っている福岡赤十字病院と密に連携をとって、後方支援病院としての地域の方々の医療に役に立てればと考えております。今後も病病・病診連携を深め、患者様への医療提供が円滑にできるよう努めてまいります。



▲ 左から 白濱重敏院長、白濱重国理事長、後藤敏孝副院長

基本情報

- ◎ 理事長：白濱 重国 先生
- ◎ 院長：白濱 重敏 先生
- ◎ 住所：☎811-1313 福岡市南区日佐4丁目39番20号
- ◎ TEL：092-591-8171
- ◎ FAX：092-591-8490
- ◎ 診療科目：内科・胃腸内科・循環器内科・呼吸器内科・血液腫瘍内科・糖尿病内科・感染症内科・疼痛緩和内科・リハビリテーション科
- ◎ 診療時間：平日 9:00~12:30
14:00~17:30
土曜日 9:00~12:30
- ◎ 休診日：日・祝



福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来

▲：午後再来（予約のみ） ●：予約のみ ※再来は原則予約制

平成30年7月1日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
総合診療科	居原 毅		○			○	内科一般・生活習慣病 睡眠時無呼吸症候群	
	原田 裕士	○			交替制			
	有吉 祐哉			○				
	総診当番医	○	○	○	○	○		
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	副院長
	平川 克哉		○		▲			部長
	工藤 哲司		▲	○				副部長
	近藤 雅浩	▲				○		
	末永 文彦	○				▲		
	今津 愛介		○					
腎臓内科	大草 響				▲		腎臓	
	満生 浩司	▲	○					部長
	黒木 裕介			▲	○			副部長
	中井 健太郎	▲				○		
	高江 啓太	○	▲					
	古原 千明	○	▲					
	井上 めぐみ							
糖尿病・代謝内科	石松 由季						糖尿病	
	佐々木 伸浩	○	○			○		部長
	川本 徹	○		▲	●			
	於久 真由美		●	○		▲		
内分泌内科	大城 彩香	●		●		●	内分泌・糖尿病	
	坂本 和可子		▲			○		
	高野 瑛子					●		
	中川 瑞穂	○	○	○	○	○		部長
循環器内科	目野 宏		○	●	●		循環器	副院長
	古財 敏之	○				●		部長
	増田 征剛					○		副部長
	松川 龍一	●			○			
	栗林 祥子		○			○		
	甲木 雅人			○				
	徳留 正毅			○				
	松本 翔							
	西村 遼平							
	中島 涼亮							
呼吸器内科	河口 知允	○			○		呼吸器一般	部長
	忍田 尚幸			○	▲			
	山下 翔							交替制
	増本 駿							
肝臓内科	常岡 祐希						肝疾患一般	部長
	早田 哲郎	○	○	○	○			副部長
	西澤 新也	●			○			
	土屋 直壮	○						
血液・腫瘍内科	北口 恭規						血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法 ※水曜日は隔週交替制	部長
	谷本 一樹	○	○		○	○		副部長
	河野 一郎	○		○				
	坂本 佳治			●				
脳神経内科	大徳 真也	○					脳卒中・神経疾患	部長
	北山 次郎	○	○					
	三本木 長紀		○		○			
	岡田 卓也			○				
膠原病内科	北村 泰佑						膠原病	部長
	井上 靖	▲	●	○		○		
感染症内科	佐川 文彬			▲			感染症一般 ※金曜日は紹介可	部長
	石丸 敏之		○			▲		
外科	有田 康佑						一般外科 消化器外科、肝胆膵外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 腹腔鏡下・胸腔鏡下手術 腎移植、腎不全外科 ERCP、PTCD、EST	院長
	中澤 愛美			○				副院長
	寺坂 禮治							副院長
	中房 祐司		○		○	○		部長
	永井 英司				○	○		部長
	本山 健太郎	○	▲		○	○		部長
	小島 雅之		○		○			部長
	井上 重隆				○	○		副部長
	小倉 康裕		○		○	○		副部長
	梁井 公輔	○	○		○			
	錦 建宏	○	○		○			
	安井 隆晴	○	○		○			
	永松 伊織	○	○		○	○		
	林 早織	○	▲	○	▲	○		
	岩本 直也							
	野口 彰子		○		○			
	心臓血管外科	藤元 静太郎		○				
乳 腺 担 当		○	○	○	○	○	副部長	
宮本 和幸			○		○			

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
脳神経外科	継 仁	○				○	脳神経外科疾患	部長
	吉岡 努					○		部長
	平田 陽子							手術日
	高木 友博	▲	▲		▲	▲		
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎	部長
	前村 紘美	○	○	○	○	○		
眼科	大石 誠一郎	○		○	○	○	糖尿病性網膜症 白内障、緑内障	部長
	瀧 瑞美子	○		○	○	○		交替制
	非常勤			○				
整形外科	泊 真二	○				○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ 膝関節・脊椎外科・一般 手の外科・外傷・一般 外傷・一般 外傷・一般	副院長
	伊藤 康正	○				○		部長
	由布 竜矢			○		○		副部長
	安原 隆寛	○				○		
	清水 大樹	○				○		
	吉野 宗一郎			○		○		
	筒井 聡郎	○		○		○		
産婦人科	西田 眞 婦				婦	産	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術	部長
	遠城 幸子				産	産		部長
	栗原 幸一				産	産		副部長
	安藤 真理子				産	産		
	吉田 優				産	産		
	平川 真梨子				産	産		
	嶋田 幸世				産	産		
	森下 博真				産	産		
	非常勤				婦			
	非常勤(循環器再来)							※
小児科	波多江 健	○				○	腎疾患 新生児 一般・神経 一般 一般・循環器 一般・腎疾患 一般 神経 循環器(第1金曜日午後のみ)	部長
	久保 鋭治					○		部長
	高田 結					○		副部長
	尾田 琢也	○				○		
	中島 康貴	○				○		
	西村 真直					○		
	菊野 里絵							
耳鼻咽喉科	非常勤			●		●	耳鼻科一般 ※完全予約制(院内紹介のみ)	
形成外科	濱田 裕一	○		○			再建外科・リンパ管外科・ 先天性疾患・顎顔面	部長
泌尿器科	柚木 貴和	○		○		○	尿路結石、排尿機能障害 尿路器腫瘍 尿路感染症、腹腔鏡手術	部長
	清島 圭二郎	○		●		●		部長
	秋武 正和	○		○		○		
	山田 茂智	●		○		○		
	福地 源司郎					▲		
精神科	非常勤						一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、新患は月・水・金	部長
歯科・ 歯科口腔外科	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般歯科、口腔外科 (再来は完全予約制)	部長
	非常勤					●		副部長
放射線科	左坐 春喜	○	○	○	○	○	検査依頼(CT・MRI・R1等)のみ・ 電話予約制	部長
	榎山 哲郎	○	○	○	○	○		副部長
	松尾 芳雄							部長
	川野 倫作							
	村山 佑里子							
麻酔科	菊野 亮栄						術中管理	部長
	生野 慎二朗							部長
	江口 明							部長
	迎 雅彦							部長
	楠本 剛							副部長
	若崎 るみ枝							副部長
	三浦 玲子							副部長
病理診断科	末永 佑太						人体病理一般	
	丸田 悠							
検査部	瀨尾 大介						検体検査管理	
	半田 瑞樹							
救急科	西山 憲一						救急(各種中毒疾患含む)	部長
	友尻 茂樹							部長
	荒武 憲司							副部長
	大矢 浩史							
健診部	皆川 雄郷						人間ドック・健康診断・循環器	
	村瀬 美奈子							

- 受付時間 月曜日～金曜日(初診・再診) 8:10～11:00
※下欄に記載のない診療科・曜日については上記通りの受付となります
- 総合診療科 (初診) 総診当番医は内科系医師による交替制です
 - 呼吸器内科 (初診・再診) 月・水・木・金のみ
 - 心臓血管外科 火・木のみ
 - 脳神経外科 (初診・再診) 水曜日は手術日とさせていただきます
 - 皮膚科 (初診) 月 8:10～10:00(火～金は通常通り)
 - (再診) 完全予約制
 - 眼科 (初診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
 - (再診) 完全予約制 ※第1・3・5火曜日は新患のみ
 - 整形外科 (初診・再診) 木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
 - 火曜日は手術日とさせていただきます
 - 産婦人科 (初診・再診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
 - 完全予約制
 - 耳鼻咽喉科 完全予約制
 - 精神科 (初診) 月・水・金のみ(完全予約制)
 - (再診) 完全予約制
 - 歯科 (再診) 完全予約制

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。
(時間外・土日祝日につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします)
専用 TEL ☎0120-521-993 専用 FAX ☎0120-521-992

※急患の方はこの限りではございません。
●診療開始時間……午前8時40分
●平日時間外及び休日急患診療(当直体制)
○内科系※ ○外科系※ ○循環器科 ○産婦人科
※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください
○小児科 平日(祝日を除く) 17時～19時30分
土曜日(祝日を除く) 13時～19時
【備考】急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診日です
再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。
☎092-521-1211(代表)

病院管理者【院長】寺坂 禮治【副院長】中房 祐司、目野 宏、青柳 邦彦、泊 真二、永井 英司【事務部長】田中 秀隆【看護部長】松永 由紀子
平成30年7月発行(第43号) 福岡赤十字病院企画推進課 〒815-8555 福岡市南区大楠3丁目1番1号 TEL 092-521-1211 URL http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp